

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
4	高橋 正典（9）	<p>1. 富士市消防団員の募集について</p> <p>令和2年11月時点における本市消防団員登録者数は、定員1030人に対し、806人と定員を大きく下回っているのが現状である。</p> <p>本市消防の業務は、消火活動から予防・警防といった消防活動と、救急救護から救助活動などの人命救助活動とに大別される場所である。</p> <p>このうち消防活動を取り上げると、本年発行の消防年報ふじによれば、昨年度の火災発生件数は72件、このうち建物火災は40件を数え、損害額は11億円弱の建物ほか市民の財産が失われている。</p> <p>さて、標記の消防団員数は806人であるが、このうち基本団員が736人、機能別消防団員は70人という内訳である。</p> <p>31個分団中、団員数の多いところで36人、少ない分団では14人というところが2分団ある。</p> <p>市内における火災発生時には、中央消防署や西消防署、それに各分署から、署員が出動し火災発生場所に向くのであるが、その火災規模によって、該当する地域の各分団に招集がかかり、消防団員が現場に急行することになる。これら一連の動きは周知のことであるが、さきに述べたように分団ごと団員数がまちまちである。団員数が充足していると感じている分団が何団あるのだろうか。</p> <p>各地域の消防団員不足は、長年の懸案事項であり、簡単には解決できないのである。その要因の一つとして、消防団の年齢構成が30歳代が150人、40歳代が約300人、50歳代が約200人となっており、20歳代に至っては50人ほどとなっている。これから活躍が期待される若者の人数が極端に少ないのである。</p> <p>また、経験年数も1年から10年未満が約350人となっている。年齢と経験年数は関連しないというものの、各分団の団員募集については、若者を増やすことが急務であると推察する。</p> <p>そこで、以下質問する。</p> <p>(1) 消防団員を募集するに当たり、富士市消防団として任命期間などを示した募集要項が用意されているか。</p> <p>(2) 消防団員を募集するに当たり、テレビCMなどの広告を打つことも考えられるがいかがか。</p> <p>(3) 富士市消防団は、魅力ある消防団であると思うが、もっと地域で愛される消防団、もっと家族からも応援してもらえる消防団にしていくためにも策を講ずる必要があると考えるがいかがか。</p> <p>2. 市内の小中学校給食におけるパン、米飯の製造・配送停止について</p> <p>令和2年11月3日付の新聞各紙の報道によると、本市公立の小中学校で現在提供されているパン及び米飯の供給者であ</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
4	高橋 正典（9）	<p>る製パン業者が、廃業するという事ではないにもかかわらず、市内の小中学校への給食用のパンや米飯の供給については、本年度をもって取りやめということである。</p> <p>今日まで、70年にわたって市内34校の給食用パン及び市内27校の米飯の製造から配送までの事業を展開してきたが、本年3月から始まった小中学校の臨時休校により学校給食も突然供給が停止された。まさにコロナ禍における緊急に行われた感染防止のための措置である。</p> <p>致し方ないこととはいえ、全国の事業所間でも同様の事象が起こり、救済措置がそれぞれに取られてきたところである。そのような中、本件の事業所においても、各種検討事項にどのように対応していけばよいのか、関係機関と調整を図ってきたが、これらの課題が顕在化してきたとして、これまで培ってきた事業の継続を断念するという事である。</p> <p>ただ、この事業所では、市内の幼稚園、保育園、養護施設や病院などに向けたパンの製造は継続していくということである。</p> <p>これは、本市の市立小中学校だけが、パン及び米飯の製造・配送が行われない対象になってしまったのである。</p> <p>このことに大きな疑問を抱き、さらに次年度への影響についても懸念される事である。</p> <p>そこで、以下質問する。</p> <p>(1) 本市の小中学校においても、本年3月時点でこれまでに経験したことがない突然の休校、長引く臨時休校等が、市内各校の給食に関わる事業者を圧迫してきたが、学校給食に関連する納入業者との協議の中で、事業者への補助、補償等どのように対応してきたか。</p> <p>(2) 次年度からの学校給食におけるパン及び米飯の供給については、これまでどおりの学校給食の在り方から再考すべきとの警鐘が鳴らされたのではないのだろうかと思うが、いかがお考えか伺う。</p>	市長 及び 教育長 担当部長